**07　悪口・嫌がらせ**

**メッセージ、送信前にいったん確認！これ大切！**

メールやSNSに関するトラブルのニュースが後を絶ちません。「ネットいじめ」という言葉も最近よく耳にします。実際身近に起きたトラブルの話を聞いて、不安を感じる保護者の方も少なくないでしょう。

令和元年度に栃木県総合教育センターが行った調査では、ネット上での「悪口や嫌がらせ」に関して次のような結果になりました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 質問内容 | 小学５年生（566人） | 中学２年生(579人） | 高校２年生※（642人） |
| 悪口や嫌がらせのメールを送られたり、SNS・ブログ・プロフなどに書き込まれたりしたことがある | 0.9% | 4.8% | 11.8% |
| 悪口や嫌がらせのメールを送ったり、SNS・ブログ・プロフなどに書き込んだりしたことがある | 0.2% | 1.6% | 4.8% |
| 他人に嫌がらせをしている動画や、物を壊すなどのいたずらをしている動画を投稿したことがある | 0.0% | 0.2% | 0.2% |

栃木県総合教育センター「情報モラルの育成に関する調査研究（Ｒ元年度）」調べ

※特別支援学校高等部2年生を含む

学年が上がるにつれ、「ある」と答えた人の割合は高くなっています。また、どの校種でも、「書き込んだ」より、「書き込まれた」と回答した人の割合が高いことが分かります。自分は軽い気持ちで言った（書いた）ことが、実は相手を傷つけているのかもしれません。ネット上では、相手の顔が見えないので、面白半分で書いてしまったり、きつい言葉を使ってしまったりしがちです。しかし、いったん相手に送ってしまうと、自分から取り消すことはできず、文字として残ってしまいます。

「相手を不快に思わせない内容か」「感情にまかせた発言になっていないか」「違った意味にとられる心配はないか」等、自分の書いた内容を送信前に読み返し、冷静に判断できるようにすることが、トラブルを減らすポイントです。

これはスマートフォンを持っている、いないにかかわらず、普段のコミュニケーションでも言えることです。お子さんが学校で友だちとどんなことをしているのか、相手の気持ちを考えて話しているのか、保護者として心配は尽きません。普段のコミュニケーションから、相手の気持ちを思いやる言葉を育てていきたいですね。

＜児童への指導に参考となる資料＞

・栃木県総合教育センター　「平成28年度情報モラルの育成に関する調査研究」

スライド資料２　小学校４～６年　誹謗中傷、コミュニケーショントラブル

７　中学校　誹謗中傷、コミュニケーショントラブル

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/kensyu2016/moral/index.asp>



・栃木県教育委員会　「情報モラル指導資料『ネットトラブル事例とその予防』」

【事例２】誹謗中傷（ルールの決め方について）

【事例３】コミュニケーショントラブル

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m09/jidouseitosidousuisinsitu/h28nettotoraburujireitosonoyobou.html/>



・一般社団法人　日本教育情報化振興会　「ネット社会の歩き方」

ナビカード教材（３　なくそう！ネットいじめ）

<http://www2.japet.or.jp/net-walk/booklet/index.html>